**ありのまま**

**全国膠原病友の会山梨県支部　大森みほ**

**ある日、突然やってくる難病。自分でも何が何だか分からないけど。。**

**まあ、健常者の人と違っても、なったものはしょうがない！と思うまでに2年ほどの月日が必要だった。**

**吹っ切れてからというものは、なかなかの生活だった。**

**強い薬の副作用で、顔が3倍くらい膨れ上がるムーンフェイスでも、「あなた誰？？」と言われながら「そりゃわからないよねえ。人相ちがいすぎて！」と笑えるようになった。**

**ムーンフェイスグループでのランチ会も開催し、ほんと丸いよねえと言い合いながらのお喋りも楽しかった。**

**車イス生活の時代は、車イスお買い物ツアーを決行し友達と2台でイオンモールを走り回った。「車イス暴走族だ！」と店内で知り合いに言われたりして。**

**フルタイムで働いていた生活とは一変したものの、暗い生活より笑って過ごしたい！**

**難病の「難」、難問なクイズも難しいものを説いている過程が楽しいのであって、少しずつ長くかかるけど正解に近づけている自分の姿を皆さんに見守ってもらっています！**

**「夜は必ず明ける」を信じて今日も笑おう！**